

ガン性悪臭の消臭

製品名 LLST-130 ポリアミン類の臭気物質の消臭
 LLST-210 揮発性短鎖脂肪酸の消臭

対象悪臭 LLST-130：プトレシン・カダベリン など
 LLST-210：酪酸、吉草酸、ヘキサン酸、ジアセチル
 トリメチルアミン、ジメチルトリスルフィド など

二種類の消臭剤は壊死により発生する各特有臭をそれぞれの性質により有効に消臭します
 二種類の消臭剤の混合は避けてください

製品説明

用途：体組織の壊死による特有の臭いを消臭

使用方法 【LLST-130】 および 【LLST-210】 は混合して使用できません
 ：二種類の消臭剤を別途にガーゼ・不織布などへスプレーし二重重ねした消臭シートとして患部の傷あてガーゼや包帯の上に覆ってください
 ：同要領で寝具用不織布消臭シートとして敷布の下や掛け布団カバーの中に敷いてください
 ：同要領で患部付近に着用する衣服や寝間着に貼ってください
 ：悪臭が付着したモノへスプレーしてください

注意点：直接皮膚にスプレーしないでください
 ：目や口に入らないようにしてください
 ：スプレーする前にボトルを振ってからご使用ください

消臭効果評価

LLST-130

	カダベリン	プトレシン	トリメチルアミン	ジメチルトリスルフィド	ジアセチル	酪酸	イソ吉草酸	ヘキサン酸
直後	1	1	0	0.5	1	4.5	4	5
30分後	1	0	0	1	0.5	4.5	3	5
1時間後	0	0	0	1	0	4.5	2	5

各液状臭気物質をスプレーしたろ紙を各2枚作製
 1枚は未消臭状態、1枚はLLST-130をスプレーした後の各臭気と比較
 なお、未消臭ろ紙の臭気は5（強烈）です

LLST-210

	カダベリン	プトレシン	トリメチルアミン	ジメチルトリスルフィド	ジアセチル	酪酸	イソ吉草酸	ヘキサン酸
直後	0	0	0	0	0	0	0	0
30分後	3	2	0	0.5	0	0	0	2
1時間後	2	1	0	0.5	0	0	0.5	1

各液状臭気物質をスプレーしたろ紙を各2枚作製
 1枚は未消臭状態、1枚はLLST-210をスプレーした後の各臭気と比較
 なお、未消臭ろ紙の臭気は5（強烈）です

	5	4	3	2	1	0
臭気度	強烈	強い	楽に感知できる	何の臭いか判る弱い臭い	やっと感知できる臭い	無臭

消臭メカニズム

<LLST-130>

有効成分ピロリジン化合物はカルボン酸と反応する性質を持っています。
また、ピロリジン化合物がエステル化した成分は1級アミンと反応します。
本剤はピロリジン化合物の他、予め適量の不揮発性のカルボン酸を添加しており、
ピロリジン化合物とカルボン酸がエステル化した成分が混在するよう調整しています。
よって、余剰のピロリジン化合物により脂肪酸を補足し、ピロリジン化合物のエステル化した成分によって
カダベリンやプトレシンなどの1級アミンを補足することを可能にしています。

<LLST-210>

揮発性短鎖脂肪酸は有効成分アルコール化合物（不飽和3級アルコール）の作用によってエステル化することで
補足・除去されます。
別途、2-ノネナールは有効成分のアミノ化合物の作用により、カルボニル基がアミノ基によって補足・除去されます。
硫化水素は本剤に含まれる亜鉛化合物によって補足・除去されます。

技術資料

LLST-130

GHS : 注意喚起語 なし
形状 : 液体
色 : 薄黄色透明
主成分 : ピロリジン化合物・精製水・他
不揮発分 : <85%
pH : 4~6
溶解性 : 水に溶解

保管方法 : 冷暗所で保管

LLST-210

GHS : 注意喚起語 なし
形状 : 液体（少量の沈殿物有り。軽く振ると分散）
色 : 薄黄色透明
主成分 : アルコール化合物・亜鉛化合物・精製水
不揮発分 : <92%
pH : 8~9
溶解性 : 水に混和

この技術データは弊社ラボにおける信頼できる実験によるものですが、絶対的なものとは言えません。
従って御試用に際しては、御社の使用目的、条件に適合するか否かを事前に充分にご検討ください。

グラフトン株式会社

〒156-0097 東京都世田谷区用賀4-11-14-3F TEL03-6413-4766 FAX:03-6413-4737